

# ポーカー世界チャンピオンが 株式投資を始めた理由

**エミン** 私は長くポーカーをプレーしてきているので、日本のポーカープレーヤーのレジェンドである木原さんのことは以前から注目していました。なにしろ、2012年の第42回世界ポーカー選手権大会（2012 World Series of Poker「ワールド・シリーズ・オブ・ポーカー」、以下WSOP）の「ポット・リミット・オマハ・シックス・ハンドド」で日本人初の世界タイトルを獲得したポーカープレーヤーですから。いつからかX（旧ツイッター）を通じてやりとりするようになり、ラスベガスで落ち合って食事を共にしたこともありましたね。Xで株式投資を始めたという投稿を見たら、うまくいっているかなと気になっていました。

**木原** 本格的に株式投資を始めて3年前になりますが、おかげさまで2023年は投資でポーカーでの稼ぎを上回る利益を上げることができました。

株で稼げていなかったときは1年分の生活費の大半を年1回、7週間にわたって開催されるWSOPで稼がなければならなかったのですが、どうしても堅実に稼げるキャッシュゲーム<sup>\*1</sup>が中心になっていたんですが、今年はリスクの高いトーナメントゲーム<sup>\*2</sup>にたくさん参加しました。

**エミン** それはすごい。わずか3年で、本業より稼い

- ※1 ポーカーのゲーム形式のひとつで、お金をチップに交換し、そのチップを賭けて遊ぶポーカー。特に終了の区切りがなく、自由に参加したりやめたり、チップを買い足したりできる。
- ※2 ポーカーのゲーム形式のひとつで、全員が同じチップ量からスタートしてチップがなくなった者から退場し、最後に残ったプレーヤーが優勝となるゲーム。



日本人初の世界タイトルを獲得した木原氏。

でいるとは驚きです。

木原

ポーカーだけでなく、囲碁や将棋、麻雀などこれまでさまざまなゲームをプレーしてきましたが、いずれも2〜3年目というのとは一番楽しい時期です。上達していることが実感できて、でもまだ十分うまいとは言えず、伸びしろがたっぷりある時期ですから。

ポーカーではそんな時期はとくに終わってしまったので、直近のプレーを振り返って「今だったらもつといいプレーができるのに」と思えることもあまりなくなっていました。でも株式投資だとそういうことがまだたくさんあるので、自分の成長を実感できるんです。

エミン

そもそも木原さんはどういうきっかけで株式投資を始めたんですか。

木原

本格的に始めたのは3年前と先ほどお伝えしましたが、2017年頃から株主優待狙いで保有はしていました。カレーハウスのCCC壹番屋のカレーが好物だったので、最初に投資した銘柄は壹番屋（7630）です。毎年、優待の食事券を受け取りながら

放置していました。

本格的に売買を始めたのは、2021年2月です。優待狙いで保有していた東京ドーム株が、オアシス・マネジメントというアクティビスト（物言う株主）に狙われ、それを三井不動産がホワイトナイト（敵対的買収を仕掛けられた買収会社を、経営陣の合意も得た上で友好的に買収する企業のこと）でTOB（株式公開買付）した買収劇で30万円ほど儲かったことがありました。このときにとっても面白いなあと感じたのがきっかけで、積極的に利益を狙ってみたいと思ったんです。

300万円からスタートして、すぐに100万円を追加し、レバレッジをかけられる信用取引も活用することで、1000万円分ぐらいの投資をするようになりました。

エミン

いきなり信用取引を始めたの？ 信用取引は利益が大きくなる代わりに損失が出た場合のダメージも大きくなるから、株を始めたばかりの人は怖がるものだけど。実際に私も、経験が浅い個人投資家にはあまり勧めていません。

木原

ポーカーだとひとつの勝負に100万円や200万円ぐらいに相当するチップを賭け

ることは日常的にやっているの、怖いという感覚は全然なかったですね。ポーカーではその場で全額溶かしちゃうことは日常茶飯事ですが、株では投資が突然ゼロになるようなことはほほありませんし、ボラティリティ（価格変動の度合い）もはるかに小さいと感じます。なにより、フルレバ（最大の倍率でレバレッジをかけること）した1000万円ですら、自分の全資産に比べれば小さい金額ですから。

エミン

ポーカー世界チャンピオンの木原さんが株式投資でうまくいっているというのは、とても納得できます。なにしろポーカーと株式投資は、かなり似ていますからね。

ポーカーがうまい人は株式投資でも上達が早いし、うまく利益を上げている人は多いと思います。

木原

確かに、共通点は多いですね。実際ポーカープロの中でも、株式投資で成功している人や、運用の世界から転身してきたという人は何人か知っています。そういうエミンさんも、国内ポーカートーナメントで複数の優勝経験を持っていると聞きましたよ。

エミン

JOPT（ジャパン・オープン・ポーカー・ツアー）のことですね。ここでは2回優勝して、準優勝も一度あります。とはいえ、私の場合はあくまで趣味で、カジノゲーム全般が大好きなんです。一日数百ドルの予算を持って海外のカジノに行つて、なるべく長く遊べればOKという感覚です。ポーカーで増えたお金を、ブラックジャックやクラップスなどのゲームで溶かしちゃうことがほとんどです。

木原

僕は15年前にポーカーを始めたんですが、エミンさんはどのくらいプレイしているんですか？



JOPTで優勝2回。準優勝1回。  
カウボーイハットがトレードマーク。ポーカーネームは、JACK。

エミン  
ポーカーにもいろいろあるけど、簡単な「ファイブカードドロー」なら、子どものころから遊んでいました。現在、最もポピュラーになっている「テキサスホールデム」を始めたのは、10年ぐらい前です。勤めていた野村證券を辞めて暇だったので、スマホのアプリで遊び始めたのが最初です。

論理的な戦略と確率的な思考が必要で、なおかつ期待値を常に考えながらプレーするところが株式投資と似ていて面白いなあと感じて、ポーカーの本を60冊以上読むほどハマりました。W S O Pにも何度か参加しましたよ。

## 株とポーカーの共通点① スキルと運、双方の要素がある

エミン  
テキサスホールデムでは、それぞれのプレイヤーに2枚ずつカードを配り、テーブルの中央に誰にでも見える5枚のコミュニティカードを並べます。自分の持っている2枚（ハンド）と中央にある5枚、合計7枚のカードのうち5枚で最も強い役を作った

プレイヤーが勝つわけです。自分に配られたカードは見えるけれど、他のプレイヤーたちがどんなカードを持っているかはわかりません。

場にあるカードは順に開いていくのですが、開く前にベット（賭け）をするかどうかを判断しなければなりません。ポーカーはカードゲームというよりカードを使ったベットゲーム、つまり「投資のゲーム」といえますね。

木原  
ポーカーは必ずしも強い人が勝つとは限らなくて、初心者や強くない人が勝つこともよくあります。将棋だったら初心者がプロに100回勝負を挑んでも1回も勝てませんが、ポーカーだったらトーナメントでトッププロを飛ばすなんて日常茶飯事だし、運に恵まれれば一晩単位のキャッシュゲームでトッププロに勝つことだって十分可能なんです。だからこそ盛り上がるし、面白い。

エミン  
株も同じですね。特別な知識を持たない人がたまたま大儲けしちゃうことはあるし、堅実に増やしていくこともできる。だからいろんな人が参加してくるわけです。うまい人しか勝てない世界なら、こんなに盛り上がりがないよね。

だからといって、運に100%依存するわけではありません。もしそうなら、木原さんのようにポーカーで生計を立てる人や、専門の投資家というのは存在できませんからね。

**木原** ポーカーでも株でも、瞬間的であれば手元のお金を10倍にする人はたくさんいますが、破綻することなく長期的に増やしていくとなるととても難しいでしょうね。

**エミン** ポーカーも株もギャンブルだと思っている人は多いけど、長期的な成果はスキルに依存するので、ギャンブルとはいえないんですよ。運が巡ってきたときに、その幸運をうまく活用して利益を最大化できるかどうかは、スキルに大きく依存します。やっばりスキルのない人は、運に恵まれたときでも大きくは勝てないことが多いんです。

**木原** ダウンサイド（保有資産が損失を受ける可能性）も同じですね。運が悪かったときでも、その負けをできるだけ小さくして耐えられるかどうかはスキルに大きく左右されます。運が悪いときにすべてを失ってしまうような人は、ポーカートーナメントでも

あつという間に脱落してしまいますから。

**エミン** 確かに、運が悪いときでもうまい人はなんとか耐えてリカバリーできるけど、そうじゃない人はそのまま崩れてしまいますね。投げやりになってしまう人もたくさんいます。

これは株式投資でもまったく同じで、うまくいったときには大きく利益を伸ばし、そうでないときはなるべく損失を抑えながら耐える、それができるかどうかはプロとアマチュアの違いであるように感じます。

## 株とポーカーの共通点② リスクを取らなければ勝てない

**エミン** 株式投資もポーカーも、勝つためにはリスクを取らなければならない点も共通していますね。株式投資は資金を株に投じる必要がありますし、ポーカーもチップを賭けて参加します。勝ったときに利益を獲得するためには、勝つか負けるかわからない段階

で手元の原資を失うリスクを取る必要があるわけです。

**木原** ただ、利益を大きく伸ばして、損失は小さく抑えるというのは、現実には矛盾します。株もポーカーも、大きく儲けたいなら大きなリスクを取らなければならないし、リスクを小さくすれば勝ちも小さくなってしまいます。リスクとリターンは常に背中合わせなので、ローリスク・ハイリターンは理論上、不可能なんです。それでも、そのパランスを上手に取りながら、少しでもそこに近づける人が本当にうまい人なんですよ  
ね。

**エミン** そう、両立するのはすごく難しいんだけど、だからこそできたときにはすごく楽しいし、達成感がある。しかもこういうマインドワークで成功してお金を増やすことができる、人間は自分に自信を持つことができるんですよ。

大きさに聞こえるかもしれませんが、頭脳努力だけでお金を増やせたという経験は、自己肯定感を上げてくれるし、人生を充実させてくれます。本業にも良い影響があったという人も多いんですよ。

## 株とポーカーの共通点③ リスク管理が重要である

**エミン** リスクは必ず取らなければならない分、リスク管理が重要という点も共通しています。勝ちたいからといってやみくもに賭けていたら、どちらもあつという間に無一文になってしまいますからね。

**木原** ポーカーではまず、テーブル選びでリスクを選択します。テーブルに座ってしまったら、その場では最大のリスクを取ってプレーするのが基本です。株式投資なら、ある銘柄に100万円投資してそれが80万円や50万円になることはあってもゼロになることはほぼありませんが、ポーカーではテーブルに置いたチップは常にゼロになる前提でプレーする必要があります。ポーカーではレートの高いテーブルにいるような強い対戦相手に対して、リスクを抑えた中途半端なプレーをしても勝てません。

スキルがある人なら、より高いレートのテーブルに座る方が時給が高くなります

が、そのようなテーブルでリスクを抑えて期待値を失うプレーをするのは本末転倒で逆にやられてしまいます。高いレートを打つなら対戦相手のレベルが上がるのでなおさらリスクを取らざるを得ないし、それが難しいならレートの低いテーブルでコツコツ稼ぐ方が良い。要するにリスクとリターンはトレードオフなので、リスクを抑えて大勝ちするなんてできないんです。

## エミン

ポーカープレイヤーの場合、ひとつのセッションで賭けるのは軍資金（＝バンクロール）の5%ぐらいが一般的ですよ。株のデイトレードやFXトレードをする場合も同様に、ひとつのトレードで資産の5%以上をリスクにさらさないというルールを徹底する人もいます。こうしたバンクロールマネジメントは、習得すればそれで勝てるというものではありませんが、あつという間にすべてを失って退場という事態を避けるために必要なスキルです。

## 木原

リスクの調整は、株の方がコントロールしやすいと思います。投資金額だけでなく、銘柄選びや分散、レバレッジの有無を変えることでもリスクを調整できますから。

## エミン

確かに、厳密なリスク管理や速やかな損切りが求められるのは、信用取引やFX、指数先物のように資金の額を超えたレバレッジ投資をするときです。余剰資金の範囲内で現物株式を持つ分には、そこまで厳格なリスク管理は必要ないし、その点はコントロールしやすいですね。

## 木原

僕は損切りのルールを徹底するというより、下落しても喜んで買い増しできるような銘柄を、損切りしなくていい金額に抑えて投資することが多いです。そうすると上昇したときのリターンも少なくなるので難しい判断ではありますが、両立はできませんから。資産の全額をひとつの銘柄にぶち込んでいたら損切りは必須だけれど、しっかりと分散ができていなら株価が下がったという理由だけで損切りする必要はないと思います。

そもそも、株価はその企業とはまったく関係のない理由で下落することもありますよね。本来そこは損切りではなく、追加で買うポイントなんです。あきらかに不当に安くなっているのは期待値がプラスな局面ですから、わざわざ損切りという期待値

マイナスのプレーをするのは明らかに損です。そうしなければならぬ状況に追い込まれたとしたら、それは単純に投資金額が高すぎるのであって、もっと少ない投資金額だったら損切りしなくても済むはずです。

僕も信用取引でレバレッジをかけてはいるんですが、せいぜい2倍程度に抑えながら複数の銘柄に分散していて、目いっぱい張るようなことは今はしていません。

知り合いで何十億という投資資金をフルレバレッジで張っているトレーダーがいますが、少しでも下落の兆候が見えたら迷うことなくポジションを切っています（現金化すること）。そういう判断と行動ができるから生き残っているのであって、それができないならもっと小さいサイズで投資しないとダメでしょうね。

## エミン

おっしゃる通りで、現物を適切なサイズで持っているのと、レバレッジをかけて持っているのでは、取るべき対応はまったく異なります。正しい対応をしても必ずしも結果がプラスに働くわけではありませんが、それでもそのプロセスが重要です。

結果論にこだわりすぎるとロジックが身につかないし、生き残れませんから。

# 株とポーカーの共通点④ 確定要素と不確定要素がある

## 木原

将棋や囲碁だったら盤面にすべての駒が見えているけど、ポーカーはわかりません。見えている情報を手掛かりに、見えていない情報を推測して戦う必要があります。

## エミン

そもそも株式投資とポーカーの共通点のひとつですね。それぞれに確定要素と不確定要素がある。

私たち投資家は企業側が開示している情報や公になっている情報を見て、投資するかどうかを決めます。ポーカーでプレーヤーに配られるカードをハンドといいます。これは銘柄みたいなものですね。配られたハンドで必ず投資しなければならぬわけではなく、ダメだと思ったら降りればいいし、降りる判断を少し先延ばしして様子見することもできます。

ポーカーのカードも、株価を左右する企業業績や外部環境も、プレーヤーや投資家